

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【383】
2. 日時：令和5年2月3日 10時00分～12時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、  
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、  
谷口技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官、小林技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他8名※

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他6名

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 担当※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の千明です。それでは島根原子力発電所 2 号機セット購入のヒアリングを始めます。本日午前中の説明項目は、股関節の土建関係のコメント回答となります。
0:00:15	それでは本日の進め方について、説明をお願いいたします。
0:00:21	はい。中国電力の高松です。それは本日は、他アクセス土建関係ということで、まず、資料確認からさせていただきます。
0:00:34	本日の資料は 3 点です。
0:00:36	資料番号、N-SにA-他-086、甲斐の 17、
0:00:43	ということで、こちら回答整理表です。こちらを一番にします。
0:00:51	はい。続きましてNS2-1-026、甲斐の 06 ということでこちらを 2 番でお願いします。
0:01:05	はい。最後 3 点目ですけど、NS2-1-020、A会員の 35 ということでこちら 3 番でお願いします。
0:01:18	はい。
0:01:19	で、本日の進め方ですけども、前回 8 月 3 日にこちら土建関係のヒアリングをしていただいておりましてその際のコメントが 4 点ございますので、その回答を
0:01:31	一文イトウでさせていただきたいと思います。で、それが終わりましたらですね、今回ですね、アクセスルート周辺の土木構造物の耐震評価ということで、
0:01:42	4 構造物ほどですね、耐震評価結果をお示ししており、おりますので、1 問 1 棟の後、そちらのご説明をさせていただきたいと思います。
0:01:52	最後に、適正化箇所、何点かお伝えしたいところがありますのでそちらを補足させていただきたいと思います。以上です。
0:02:01	はい。規制庁杉浦です。進め方についてははい、わかりました。それで今回初回説明の箇所っていうのは、ちょっと具体的にはどの施設なのか、丸さんの資料ですかね。はい。ちょっとぜ。
0:02:15	これ、項目。はい。中国電力の高松です。それではですね今回新しく説明させていただく資料、土木構造物ですけど丸さんの資料でちょっとご説明します。
0:02:29	えっとですね、③のですね表が 1 ページ目についておりましてそののですね、
0:02:40	ちょっとページが振ってなくて申し訳ないんですけど 7 ポツの章になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	はい。7 ポツにですね、保管場所及び屋外のアクセスルート周辺構造物の耐震性評価についてというのがございまして、その下にですね、赤枠で囲まさせていただいておりますけど7 ポツ 2 ポツ、4 ですね。
0:03:02	大岩谷トンネルの耐震性評価、7 ポツ 2 ポツ 5、連絡通路の耐震性評価、7 ポツ、2 ポツ 6、2 号機開閉所防壁の耐震性評価、7 ポツ 2 ポツ 7、補助消火水槽の耐震性評価ということで、
0:03:16	こちらにお示した 4 構造物が新規の御説明対象となります以上です。はい。規制庁千田です。はい、わかりました。
0:03:24	それではまず、コメント回答からの方だと思いますので説明をお願いします。
0:03:30	はい。それ中国電力高松です。それでは担当の大窪の方からご回答させていただきます。
0:03:40	はい、中国電力の大窪です。
0:03:43	ではまず最初に資料番号 1 の 13 ページ。
0:03:47	No.98 からお願いいたします。
0:03:55	コメント内容としては、損壊対策の地耐力に関する考え方を具体的に説明すること。
0:04:02	です。
0:04:05	回答としましては、地中埋設構造物の、
0:04:08	損壊時に損壊時の形状を想定した、一型高が支持される地盤について、
0:04:15	車両走行時における安定性の評価結果を追記しました。
0:04:19	です。
0:04:21	回答は補足説明資料を用いましてご説明させていただきます。
0:04:26	なお、資料番号 1 の資料等への反映箇所のページ数は、一部誤りがございましたので、訂正させていただきます。
0:04:36	それでは、資料番号 3 の 126 ページをお願いします。
0:04:56	地耐力に関する考え方として、参考資料 2 として、滑り安定性を確認しております。
0:05:03	評価対象は、内宮は内服幅が最大となる。
0:05:07	通し番号 29 の光ケーブルダクトとします。
0:05:12	まず、1 の確認方法で、
0:05:14	下の図の地中埋設構造物の損壊後、
0:05:19	地中埋設構造物の内腔に埋め戻し度が打ち込んだ後の地盤形状におけるH型工の強い地盤。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	赤線で示している部分ですが、
0:05:28	こちらで地耐力に対する安定性を確認します。
0:05:34	続きまして 127 ページをお願いします。
0:05:41	解析条件といたしまして、物性値荷重、地下水の条件を記載しております。
0:05:48	表の 2-2 をお願いします。
0:05:51	荷重につきましては、考えた設備の荷重に加え、一型高などの荷重を考慮しております。
0:05:58	考えた設備は、一型高の設計に用いました通り、支店反力が最大となる可搬型設備の位置を想定し、より保守的な荷重で評価を実施しております。
0:06:11	128 ページをお願いします。
0:06:15	評価結果についてですが、滑り安全率は 1.36 であり、一型高の支持地盤について、可搬型設備の通行性に影響がないことを確認いたしました。
0:06:28	回答整理表のNo.98 のご説明は以上となります。はい。規制庁千田です。では、のコメントについて、
0:06:43	規制庁のハットリです。
0:06:45	ちょっと先ほど説明のありました
0:06:48	安定性について、この評価については、これでわかったんですけども、
0:06:54	ちょっと何点か確認をさせてください。
0:06:56	ここ
0:07:00	結局係長のところの安定性の評価ですよ。
0:07:04	なので、構造物の規模ってあんま関係なくて、
0:07:07	どっちかっていうと係指導。
0:07:09	がどれぐらいの幅があるか。
0:07:12	結局加重Wallin過剰なので、
0:07:15	構造物の幅と全く関係ないですよ。
0:07:17	極端なこと言えば 10 センチしか係長がなければ、
0:07:21	そこに輪荷重がかかると、ちっちゃなエンコでドンと滑る。
0:07:24	ということになるんですよ。
0:07:27	であれば、係人が他の施設もうこの 1.24 以上、
0:07:34	ナイトウ、
0:07:36	この話って成立しないと思うんですが、これは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:40	他の他の市、ところは 1.24 以上あるんでしょうか。
0:07:58	はい。中国電力の高松です。これに関しましてはですね係長ということで年資料番号同じく 3 番のですね、
0:08:07	118 ページをお願いできますか。
0:08:18	はい。
0:08:19	こちらのスパン長設定の概念図ということで、8-21 位図にお示しはさせていただいてるんですけど、今回検討しました、29 番の融け光ケーブルダクトですね。
0:08:33	この場合は、地中埋設深さが 25 センチのところを設置するというので、係長が 1、1.24 メートルになるというふうな状況でして、
0:08:43	基本的なこの係長の設定の考え方はですね、いずれの構造物もですね、こちらにお示しますように 1 メートル以上ということで、基本的には計画しております。
0:08:56	で、なので今回の対象構造物 29 番で言いますと、安全率 1.36 になりましたけど、基本的にこの 1 メートル以上を設けるということですね、同等の安全率は確保できる
0:09:11	とは考えております。以上です。
0:09:14	規制庁の服部です。この 1 メートル以上というところは私もちょっと見てあって、
0:09:19	1 メートル以上は確保するっていうことはわかっていますんで、その 1 メートルから 1.24 メートルの間の話だけなんですけど、この間に何か他の施設があるのかっていうことと、
0:09:30	単純にこうなんでしょう、1.24 と 1 メートルだと、
0:09:36	24%かな、これで安全率が 1.36 だから、市としても、36%、こんな単純な話かなあというのを少し気になったので、
0:09:46	ちょっとそこら辺でその間にある施設があるのかっていうことだけ確認したいんですが、いかがですか。川白 1 メーターから 1.24 までの間の施設があるのかないのか。
0:10:02	はい、中国電力の大窪です。
0:10:06	結論としてはございます。
0:10:09	衛藤。
0:10:12	江藤係資料 1 メートルといいますのが、
0:10:15	先ほどご説明させていただいた、
0:10:20	118 ページの、今の山頂の考え方になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:25	地表面に敷設することを前提として係資料 1 メートルを設定しておりますが、
0:10:32	えっと、
0:10:33	敷設する時埋設深さもありますので、
0:10:39	考慮したときに、1 メートルから今の 1.25 メートル。
0:10:44	ですね、その間に、
0:10:46	仮白が含まれるものもございます。
0:10:50	以上です。
0:10:52	規制庁のハツリですただこれあれですよ、鋼材も別に 1 メーターぎりぎり切ってわざわざ置いたりしないで定着も使うんですよ。
0:11:00	だから通常 1 メートルっていう設定をする等、
0:11:03	深沢があるとそれだけ 45 分だけ増えるし、
0:11:07	定着も使う等、1.2 を超えるって何か考えにくいなということを前提に聞いてるんですけど。
0:11:15	理屈であるというのはわかるんですけど、いかがですか。
0:11:20	はい。中国電力の高松です。先ほど大窪が申しました通りですね基本的にはこれチー地表面位置で、このH鋼材を設置するわけではなくてですね、
0:11:32	アスファルトの下には少ないし埋め込むような形になりますので、この米って今回の 1.24、これ相当分ぐらいの係は当然定尺物を使うということでも、係は確保できるかと思っておりますので、
0:11:46	今回の評価結果で、概ね最低限は入ってくるんじゃないかなというふうに、
0:11:52	以上です。
0:12:07	規制庁のは、とりあえずはいなので、一応そこら辺の、同等以上のもの、係長になってるところは、一応確認はしておいていただきたいんですけどいかがですか。
0:12:19	はい。中国電力の高松です。コメントのご趣旨はわかりました。係長について確認してですね、ご説明できるようにします。はい。以上です。
0:12:34	規制庁の服部です。なので特にこの、なんだろう。ここに、
0:12:39	なんかは、
0:12:41	注記で入れてもいいし、
0:12:43	別にそれ以上あれば別に出なくてもいいし、そこちょっとそこはお任せしますけど、一応、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:59	規制庁のハットリツアー。そうしましたら少しその網羅性がわかるようにしていただけるように少し記載を追記して拡充していただければと思いますが、
0:13:10	いかがでしょうか。はい。中国電力の高松です。今まさに加来有井のところ後、コメントいただきましたけど、現地の方では、そういった詳細な計画を今詰めていっているところですので、
0:13:21	十分な係りが確保できているかっていうところを確認しまして、先ほどおっしゃっていただいたような、一覧で示すとか、示し方はちょっと工夫させていただきますけど、何らか網羅的に、
0:13:34	ちゃんと係が取れてるっていうのが、を説明できるようにします。以上です。
0:13:39	規制庁の服部です。わかりました。あともう1点なんですけど、
0:13:43	今回、
0:13:45	地下水が一、7.68メートルということで、
0:13:49	これ地表面に地下水があるところも何ヶ所かありますよね今回ね。
0:13:55	こちら辺て、
0:13:57	多分梅本指導、
0:14:04	岩砕だからというのはあるんですけど一応
0:14:07	液状化するという前提にはなってる、液状化するというか、液状化に準ずる現象が生じるという、
0:14:18	ことを前提に設計されてるというふうに考えています。
0:14:22	これ地表面 2、
0:14:27	何だろう、地下水があった場合、
0:14:31	評価変わるかなあと思うんですけど。
0:14:34	その液状化に対する考え方ってどういうふうに考えてますか。
0:14:49	はい。中国電力の高松です。藤金か飯野ですね、評価条件で、地下水は、考慮はさしていただいているんですけど、それを踏まえた液状化影響といったところまではですね、
0:15:04	この安定性評価条件上ちょっとインプットできてないところではございますんで、ただ、今回、
0:15:14	評価条件としましては、係員を取って、す。
0:15:19	その崩壊後の考えられるその滑り線に対して、必要な安全率は基本的には確保できるものかなと考えております。
0:15:29	以上です。規制庁の服部です。確認なんですけど、これ 25 センチっていうのはおそらく、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:37	舗装等、どういう型の舗装化が 30 型なのか、67 かちょっとわかんないですけど、
0:15:44	舗装の方で路盤。
0:15:48	下につけるのかな。
0:15:50	これって大体統一的に 25 センチにしてるの。
0:15:54	かな計画的には、
0:15:59	はい。中国電力の高松です。今回お示した 29 番につきましてはですね、埋め込み深さ 25 センチということで、計画はしております。で、その他の箇所については現地に舗装圧が一定程度ありますので、
0:16:15	10 センチぐらいは舗装圧分があるかと考えて、基本的な埋め込み深さは 10 センチ以深というふうなことで考えております。で、
0:16:25	実際に現地の状況次第ですねその設置深さっていうのは、構造物の条件とかですね、舗装の状況も個別状況で若干変わってきますので、
0:16:35	係長も必要な分確保しながらですね、現地に合わせていくというふうなことにはなります。以上です。
0:16:43	規制庁のハットリですはいわかりました 10 名では、10 センチということとは、1 個って 400 ぐらいですかね。そうずっと大体 1 メーター以内のところには必ずあるんですよ。
0:16:55	ちょっと微妙ですけど実際その地下水位設定地下水が大分保守的に設定しているということもかんがみると現実的には問題ないと思いますので、
0:17:06	これについては浅いところにあるということで、
0:17:11	一応承知はしましたちょっと理解するということまではいかないですけど、承知はしたということで、これ、この
0:17:19	98 番については了といたします。以上です。
0:17:22	はい。中国電力の高松です。ありがとうございます。今服部さんにおっしゃっていただいた通りですね、基本的には深いところに設置するとなるとですね、
0:17:33	大規模、大規模な掘削をしないといけないことになりますので、我々としては基本的には、10 センチfaultの下のある程度のところっていうふうを考えますと、
0:17:44	地下水レベルから考えると、実態は十分それより高いレベルに設置されることになるかなとは考えております。以上です。
0:17:55	はい。規制庁の千明です。はい。それでは次のコメント回答の説明をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:05	はい、中国電力大窪です。
0:18:08	続きまして、資料番号 1-13 ページ。
0:18:14	No.99 をお願いします。
0:18:21	コメント内容は、地中埋設構造物の損壊について、条件 34 のエビデンスを説明すること。
0:18:29	です。
0:18:31	回答は、条件 3、4 に該当する地中埋設構造物の断面図を追記しました。
0:18:37	です。
0:18:39	まずは資料番号 3 の 92 ページをお願いします。
0:18:54	こちらで、条件 1 から 4 に該当しない箇所について、地中埋設構造物の損壊を仮定しております。
0:19:03	そのうち条件 3 の外周をコンクリートで巻き立てられ、補強された構造物。
0:19:09	と条件 4 の内腔に対し十分等かぶり厚さ 60 以上を有している管路に関しまして、該当する構造物のエビデンスとして、断面図を追記しております。
0:19:22	まず 94 ページをお願いします。
0:19:27	条件 3 の外周をコンクリートで巻き立てられ補強された構造物の断面図を示しております。
0:19:36	次に 95 ページをお願いします。
0:19:40	こちらで条件 4、内宮に対し十分等小針やすさ、6 人以上を有している管路についても、断面図で記載しております。
0:19:49	いずれも内向に対し、
0:19:52	十分な、とかぶり厚さを有することを、寸法を用いてお示しております。
0:19:58	以上のことから、断面図を用いて、条件 3 と条件 4 を満たす構造物であることを確認しております。
0:20:07	回答整理表 99、No.99 のご説明は以上となります。
0:20:12	はい。規制庁の広井です。はい。回答については了といたします。はい、では、次のコメント回答をお願いします。
0:20:21	はい。中国電力の高松です。次の回答につきましては本社広島側からご回答させていただきます本社がお願いします。
0:20:32	はい。中国でのフジモトです。続きまして資料の 1 のナンバーの 100、
0:20:38	13 ページのナンバー100 を回答させていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:41	地震随伴火災の影響範囲の評価について説明すること。こちらにつきまして、ほど説明資料 20 として、保管場所アクセスルート周辺の火災影響範囲、これらの算出評価方法を追加をいたしました。
0:20:55	資料 3 の 146 ページ目をお願いいたします。
0:21:03	はい。こちらの資料補足の 20 は、設置変更許可申請書のまとめ資料のうち、技術的能力 1.0. 2 保管アクセスの別紙の 6、可燃物施設の火災についてから、
0:21:16	引用し作成した資料になります。
0:21:19	この所におきましては、保管場所及び屋外のアクセスルート周辺の可燃物施設のうち、火災が想定される設備の火災影響評価として、放射熱強度の算出方法とその結果を示しております。
0:21:32	150 ページ目をお願いいたします。
0:21:37	この一番下部に注記で記載をしていますが、隣接する可燃物につきましては、同時に火災が発生する場合の評価を記載しております。単独火災であるだけでは、
0:21:49	他の火災の方は書かずに隣接する場合はそれをまとめて、次のページにその結果を示しております。
0:21:55	次のページは 51 ページ目をお願いいたします。
0:22:01	はい。こちら表に結果示していますが、どの設備におきましても、長時間さらされても、苦痛を感じない強度を示す距離に対して、保管場所アクセスルートまでの距離を比較し、十分な離隔距離があることから、問題はありません。
0:22:17	なお設置変更許可申請書のまとめ資料におきましては保管場所からの距離は、図だけが示していましたがこの工認資料におきましては、アクセスルート同様に保管場所の距離も具体的に記載し、今回しまして、
0:22:31	問題ない事を確認しております。
0:22:34	ナンバー100 の回答は以上になります。
0:22:37	はい。規制庁吉良です。はい。それで、コメントNo. 100 の回答については当量としたと思います。
0:22:46	はい。それでは次のコメント回答お願いします。
0:22:50	はい。中国電力大窪です。
0:22:53	資料番号 1-13 ページ、ナンバー101 をお願いします。
0:23:00	コメント内容は、輪谷貯水槽西一にアクセススロープ東側について相対沈下量の算出、算定プロセスを説明すること。
0:23:09	です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:11	回答は、輪谷貯水槽西一にと、アクセススロープ東側の各々の沈下量及び相対沈下量算定プロセスを追記しました。
0:23:22	です。
0:23:24	資料番号 3-76 ページをお願いします。
0:23:36	通し番号 40 の、さらに貯水槽西一西にアクセススロープ東側については、2 行にわたり、相対沈下量を記載しており、
0:23:45	別途、
0:23:46	相対沈下量 0.15 メートルの算定プロセスを説明するようコメントをいただいております。
0:23:53	次の 77 ページをお願いします。
0:23:58	こちらで、通し番号 40。
0:24:01	不燃貯水槽西一に新アクセススロープ東側の平面図と断面図を用い、相対、相対沈下量 0.15 メートルの算定プロセスを説明しております。
0:24:13	相対沈下量は、西側に位置するアクセススロープの沈下量 0.47 メートル、
0:24:19	と、東側にするライン貯水槽西一西野。
0:24:23	沈下量 0.32 メートルの算定プロセスを記載するとともに、
0:24:28	その沈下量の差をとることで、相対沈下量 0.15 メートル。
0:24:33	を算出しております。
0:24:35	回答整理表ナンバー101 のご説明は以上となります。
0:24:40	はい。規制庁内村です。101 については、これは私が出した内容なんです、プロセスについて算定プロセスについては考え方は示していただいたので、わかりましたので、私としては了としますが他に確認する方。
0:25:04	規制庁の服部ですちょっと何点か確認をさせてください。
0:25:08	このアクセススロープっていうのは、これは何かMMRか一番改良体かなんかなんでしょうか。
0:25:18	はい。中国電力の高松です。ちょっと記載不足なところありまして申し訳ございません。構造の概要を申しますと、コンクリートのは食うがある構造物でございます、
0:25:32	コンクリートの枠の中にですね、EPS工法ということで、発泡スチロールルーのですね、ブロック、これを敷き詰めていると。
0:25:42	いった構造になっておりまして、
0:25:45	はい。
0:25:48	衛藤。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:50	これ地下水のレベル的なところを申しますとですね、こちら設置床レベルがこちら 77 ページにお示してあります通り 47.7 ということで、
0:26:02	このエリアの大体地下水位のレベルがですね、約 20 メートルから 25 メートルというふうなレベルでございますので、当間液状化の影響という意味では大丈夫な設置エリアかなというふうには考えております。以上です。
0:26:17	規制庁のハットリですはいわかりましたEBS入ってる。
0:26:28	規制庁のハットリです。EPSだということはわかりました土じゃないということですよ。
0:26:34	で、もう 1 個この和田に水槽のこの、
0:26:38	万が一、このアクセスルートの段差が今、
0:26:42	計算上 15 センチぎりぎりですよ。
0:26:45	万が一これが 15 センチ以上になる。
0:26:49	より大きくなって、
0:26:51	通れなくなっても、これ
0:26:53	人力でこっからホースか何か何か対応できるんですけど。
0:27:00	はい。中部電力の庄田です。こちら本社から回答させていただきます。十和田 2 に貯水槽西側の西側する分ここがもし毎日、通行 15 センチの段差が発生した場合の対応としましては、
0:27:13	東側の方に、通行、東側につきましてもアクセスルート設定をしております、和田に貯水槽の上に保管している大量送水車から、
0:27:24	ホースを展張して、伸ばしていくこともできますし、第 3 報管理に保管しています大量送水車を、第 2 は、第 2 保管エリアに貯水槽西の東側。
0:27:36	ガスタービン発電機建物の西井側の方に配置をしましてそこから取水用のホースを延ばして、取水することも可能です。以上です。
0:27:46	規制庁の服部です。はい。
0:27:50	ちょっと第 3 保管庫とか他のものを使うというのは、
0:27:54	このプラスアルファの観点から、ちょっと理解はできないんですけど、これも一応、
0:28:01	何かあったときには使えなさいいけないということで第 2 保管庫が設定されてると思いますので、
0:28:06	第 2 保管庫、
0:28:09	その機能が、このクローズしてないといけないかなと思っていて、ただいまの話だと、代表宗主査を第 2 保管庫に置いたままでも対応が可能だということなので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:21	まず何か、前聞いたような気がしますので、それは理解をしました。
0:28:25	ちょっと気になったのは、
0:28:28	この今計算上はあくまでもこういう計算をしているということなんですけど。
0:28:32	方が、これ今 3.5%の沈下っていうのはかなり保守的な沈下量だというふう理解してます。それは片側が動かないと仮定すると、3.5%の沈下量を考慮すると、それは当然保守的ななんですけど、今回両方とも動くんですよね。
0:28:47	そうすると、
0:28:49	例えば、
0:28:50	貯水槽の下なんかわあ、
0:28:53	仮に高圧水されてるとする等、
0:28:56	3.5%の沈下量にならない可能性があるかと。
0:29:00	今のこの話って、
0:29:03	要するに相対変位で買うものを考えると 3.5%って必ずしも保守的にならないなっていうところが少し気になったんですよ。
0:29:11	だから
0:29:13	もし仮に、この
0:29:15	こういう同じ同一なので、同じ沈下量するだろうという想定がバラつきで崩れた場合の対応として、
0:29:23	その対応策がきちんとあれば、それは計算でいいかなと思っ
0:29:28	たんで、その
0:29:31	もし
0:29:35	仮に、
0:29:37	この段差が 15 センチより大きくなった時の対応は、
0:29:40	他へ対応はきちんとありますねということを実際確認としてさせていただきたいんですが、
0:29:46	本社の方がいいかでしょうか。
0:29:59	中国電力の森本です。その対応については先ほど藤本が述べた通り第 2 保管エリアの
0:30:07	上に置いてある大量送水車そこから
0:30:12	河田に貯水槽の東側の方から展張して対応可能なので、
0:30:17	衛星対応等に支障がないということになります以上です。
0:30:22	規制庁の服部です。その他に何か対応みたいなのは考えてますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:29	はい。中国電力の森本です。これは先ほど藤本の方から言いましたけど
0:30:36	万が一ということなのでこれ一企業万が一ということで2N+ $\alpha$ 設備、大量送水車にN+ $\alpha$ 設備になりますので、
0:30:47	当然材料としても分散配置しております、第3保管エリアから、その話題貯水槽の
0:30:54	東側の方に持ってきて、
0:30:56	そっから随時ポンプを上げて取水することも可能ということで、対応したい。対応することが可能です。衛生対策においても、そちらの時間がかかる方の、
0:31:09	対応をタイムチャートに示して成立性を確認しているところでございます以上です。
0:31:15	規制庁のハツリですはいわかりましたきちんと対応があるということで理解をしました。以上です。
0:31:30	はい。規制庁木田です。はい。それではコメント101については了といたします。
0:31:36	では次の説明を。はい。お願いします。
0:31:41	はい。中国電力の高松です。それでは、7ポツ、
0:31:48	2章ですね、7ポツ2ポツ4の第2岩谷伊井トンネルの耐震性評価から、改めましてオオクボの方からご説明させていただきます。
0:32:00	中国電力大窪です。
0:32:02	まずは、第2台岩谷トンネルからご説明いたします。
0:32:06	資料番号3の8ページをお願いします。
0:32:18	概要となりますが、第2岩谷トンネルは、保管場所等から目的地へのアクセスルートである道路トンネルであるため、耐震評価を実施し、
0:32:28	アクセスルートの通行性を確認します。
0:32:32	9ページをお願いします。
0:32:36	構造概要としては、図の、
0:32:38	7.2.4-3。
0:32:41	AA断面でお示しするトンネル部と、
0:32:44	BB断面でお示しするアーチカルバート部により、構成された。
0:32:49	延長約575メートルの鉄筋コンクリート造の道路トンネルとなっております。
0:32:57	12ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:03	評価対象断面については、トンネル部の区間については、最もかぶりが対 1、
0:33:09	あっちカルバート部の位置については、
0:33:12	最も直下の織戸層厚が対 1 とします。
0:33:17	19 ページをお願いします。
0:33:26	評価方法についてです。
0:33:29	評価対象部材の耐震評価は、曲げ軸力系の破壊及びせん断破壊、
0:33:34	残留変形量に対する照査を行います。
0:33:38	続けて評価結果についてです。
0:33:41	曲げ軸力系の破壊に関しましては、表 7.2. 4-5 にお示しています通り、
0:33:49	トンネル部とアーチカルバート部において、許容限界以下であることを確認しております。
0:33:55	2122 ページをお願いします。
0:34:02	せん断破壊に対する最大照査機に関しましても、トンネル部とアーチカルバート部において、許容限界以下であることを確認しております。
0:34:12	23 ページお願いします。
0:34:16	残留変形量、
0:34:18	についても、鉛直変鉛直変形量はセンチメートル以下となっており、可搬型設備の通行に支障をきたす段差 15 センチは発生しないことを確認しました。
0:34:31	大渡トンネルの耐震性評価については以上となります。
0:34:40	そして、
0:34:43	このまま通して、行かせていただきます。残り 3 構造物となります。
0:34:48	連絡通路になります。
0:34:51	24 ページをお願いします。
0:34:56	概要ですが、連絡通路は、土石流が発生した場合でも、その影響を受けないアクセスルートを確認するために設置しますので、
0:35:05	耐震評価を実施し、アクセスルートの通行性を確認します。
0:35:10	26 ページをお願いします。
0:35:15	構造概要としては連絡通路は、斜面部と、平たん部により構成されており、
0:35:20	斜面部では、岩盤に直接、
0:35:23	平たん部では、地盤改良を介して、
0:35:26	看板に設置されている。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:28	コンクリート造で構成された地中及び地上構造物となっております。
0:35:34	31 ページをお願いします。
0:35:41	評価代償断面については、斜面部については、第 2 速度層が分布する東側斜面部において、
0:35:48	地震時の応答値がより大きくなると考えられることから、東は東側斜面部を対象とし、
0:35:55	そのうち構造物の内宮面積が最も大きくなるペントハウス境界部とします。
0:36:02	平たん部については、地盤の応答の影響を最も受けると考えられる地盤改良厚さが最大分を評価対象断面とします。
0:36:13	39 ページをお願いします。
0:36:20	評価方法についてです。
0:36:23	評価対象部材の耐震評価は、曲げ軸力系の破壊及びせん断破壊、
0:36:29	残留変形量に対する調査を行います。
0:36:33	続けて、評価結果についてです。
0:36:36	曲げ軸力系の破壊及びせん断破壊、残留変形量、残留変形量に関しましては、
0:36:42	次のページ以降でお示しております通り、
0:36:46	斜面部と平たん部において、それぞれ許容限界以下であることを確認し、
0:36:51	要員の通行に支障をきたさないことを確認しております。
0:36:58	続きまして、2 号開閉所防護併記となります。
0:37:03	45 ページをお願いします。
0:37:08	概要ですが、
0:37:10	2 号開閉所防護駅は、アクセスルートへ近接した位置に設置した壁状の高構造物であるため、地震時のアクセスルートへの影響を評価します。
0:37:21	46 ページをお願いします。
0:37:25	構造概要としては、2 号開閉所防護駅は、南北区間と東西区間から構成されている支柱。
0:37:33	コウハン等のコース構成壁となっております。
0:37:37	評価対象断面については、地震時の倒壊影響範囲を想定した場合、アクセスルートとして必要な幅員が確保できない、南北間を
0:37:47	評価対象とし、その中でも、
0:37:50	最も支柱間隔が広く、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:37:52	分布荷重が大きくなる、断面を設定、
0:37:56	選定します。
0:37:58	ここでは、地震力に対して倒壊に至らないことを確認するため、
0:38:03	評価対象部材は、支柱とします。
0:38:07	56 ページをお願いします。
0:38:15	評価方法についてです。
0:38:18	評価対象部位の
0:38:20	耐震評価は、
0:38:21	支柱について曲げ及びせん断能力度調査を行い、許容限界以下であることを確認します。
0:38:28	続けて、評価結果についてです。
0:38:31	曲げ圧縮及びせん断力に関しましては、次のページ以降でお示しています通り、許容限界以下であり、
0:38:39	2号開閉所防壁が基準地震動 $S_s$ による、
0:38:43	地震力に対して倒壊に至らないことを確認しております。
0:38:48	続きまして、最後、補助消火水槽です。
0:38:54	58 ページをお願いします。
0:38:59	概要ですが、補助消火水槽は、アクセスルートへ近接した位置に設置した鉄筋コンクリート造の構造物であるため、
0:39:08	地震時のアクセスルートへの影響を評価します。
0:39:12	59 ページをお願いします。
0:39:16	構造概要としては、2号開閉所防壁は、
0:39:20	地上部と地中部から構成されており、地上部は、
0:39:24	東西方向の幅 5.8メートル、南北方向の幅 3.2メートル。
0:39:29	高さ約 3.6メートルの構造となっております。
0:39:33	評価対象断面については、アクセスルート側への倒壊を評価する観点から、地上部を含む直交する 2 断面とします。
0:39:43	69 ページをお願いします。
0:39:55	評価、評価方法についてです。
0:39:58	評価方法は、地上部を構成する側壁、
0:40:01	中間壁及び帳場について、曲げ軸力系及びせん断破壊に対する照査を行い、
0:40:08	許容限界以下であることを確認します。
0:40:12	続けて評価結果についてです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:14	曲げ軸力系及びせん断破壊に対する照査に関しましては、次のページ以降でお示ししています通り、許容限界以下であり、
0:40:23	補助消火水槽の地上部が基準地震動 $S_s$ による地震力に対して倒壊に至らないことを確認しております。
0:40:32	以上で、周辺構造物 4 構造物分のご説明を終わります。
0:40:39	はい。規制庁木田です。それでは今、説明、今回は、初回の説明があった四つの構造物について、
0:40:48	ちょっと確認をしていきたいと思います。
0:40:51	ちょっといろんな構造物で、いろいろな話になるかと思いますがご容赦ください。
0:40:57	ではすみません私から、
0:41:01	基本的な話を確認させてください 17 ページ、③の資料の 17 ページなんですけど、
0:41:13	今回この第 2 和田にトンネルのあっちカルバート部の、
0:41:19	織戸ですね、17 ページとか 10、18 ページに解析モデル図があるんですけど、
0:41:25	このですね森園所っていうの分析、
0:41:30	電路食うに記載していた埋戻し動、
0:41:35	盛り度っていうのを適用するっていう、
0:41:38	いうことなのかどうかっていうことと、
0:41:41	それーが、
0:41:45	適用できるのかっていう話ですねその辺が何も書いてないっていうのと、
0:41:51	ちょっと昔聞いた説明だと
0:41:55	この点 6 にある梅津市の森野っていうのは発電所造成の時の掘削度を
0:42:04	の解析、試験中であって、それを、
0:42:09	今回のこの谷のところに埋めてる森戸っていうのが、
0:42:15	発足した。
0:42:16	土砂をここに持ってきてるのかどうかっていうのもよくわからなかったっていうのと、
0:42:23	あと、
0:42:24	この盛とってあの高さ 60 メーターぐらいあるんですけど、その辺りって、きちんと管理されているのかとかですねその辺についてちょっと、
0:42:36	いくつか言ったんですけど説明を。
0:42:39	していただきたいんですけど、お願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:44	はい。中国電力の高松です。今ほど、千田さんにおっしゃっていただいた通りですね、こちラーサイズだ2度捨て場という、島根原子力発電所の
0:42:56	東側に位置する捨て場がございまして、発電所のに基本的には、これまでの2号、3号、
0:43:06	こちらの建設時に、あのサイトで発生した掘削度、こちらを盛り立てたといえますか、
0:43:16	造成したとせばになります。
0:43:19	で、8000 遠藤の由来としましては、基本的には発電所の
0:43:26	掘削ずり岩砕掘削ずりになりますので、敷地内の埋め戻し度を掘削ズリこちらと成分といえますか、
0:43:37	性質的なところは、一緒かなというふうに考えております。あとは、その盛り度の管理的なところですけども、こちらそれぞれ2号3号の建設時において、
0:43:50	女性には森野管理基準、こちらを定めて、式の視点圧を繰り返しておりますので、基本的にはサイトの埋め戻し度と、同一の物性値を適用して、
0:44:01	解析ができるものと考えております。以上です。
0:44:07	はい。規制庁寺井です説明ははい、わかりました。今話し合った内容っていうのが、ちょっとやっぱり資料にないとなかなか、はい。わからないと思いますので、
0:44:18	ちょっとその辺は
0:44:20	丁寧に入れていただきたいなと思います。
0:44:28	規制庁いるわけですか。基本的に14ページ。
0:44:32	見るとねおんなじ話なんだけど、
0:44:34	14ページの岩級区分のところでは、
0:44:37	起伏そうなるんで、
0:44:39	さっき言ったその
0:44:42	むしろ、
0:44:43	岩砕堆積物、それとはね。違う記載になってるっていうこと。
0:44:49	うん。そこがあるっていうことを解消しなきゃいけないっていうことと、
0:44:55	下の方の
0:44:57	第1層になってんだよね。
0:45:00	ダイソーってD級だから碓井がないじゃん。
0:45:03	そこも何か何かよく理解できなかった。
0:45:06	たっっていうこともあって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:08	まずその上の人使うっていうのはいるのは間違いないですよ。ダウンをちょっと使うことも適用性だけど第1ソウダとD級岩盤なんでだよ、確か。
0:45:19	地盤の強い性能の基本方針だった礎ってあるじゃないですか。D級なんじゃないですか。そうじゃない。
0:45:28	その辺がちょっとねよくわからないんだよ。
0:45:35	はい。中国電力ヨシツグでございます。第1層について森野も含めて第1層という評価を地盤の申請の方に少しさしていただいております。で、
0:45:45	一部
0:45:47	山の位置を、2号の山の一部のところに台数をちょっと二つに区分した速度層区分をしておるんですけど、ここでは、
0:45:55	宗の曾根第1層と、1個じゃないっていうのはまずいで、
0:45:59	なぜかっていうと、ひもづけられないじゃん。
0:46:03	相手の意味わかります。
0:46:04	だったらこの中に全部書かないと駄目だよ。
0:46:07	封成長。
0:46:08	あそこを見なくてもいいようにするために、こちらの、
0:46:13	基本申請の同意書文書の中で全部、
0:46:16	整理されてるので、
0:46:17	ここに書いてないことはそっち見に行って、どれを
0:46:21	使っているのかわからないっていうと、これ審査漏れになっちゃうんで。
0:46:25	それをしっかり紐付けられるように、組み立てないと。
0:46:31	うん。
0:46:34	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:46:37	はい。ちょっと物性値、あと今までと説明してるちょっとエリアと違うところの森野先ほど千田さんからのコメントがあった通り、そういったところの物性値の考え方のところがちょっと抜けておりますので、
0:46:51	そこを記載を充実させていただいて、紐づけもさしていただきたいと思えます。以上です。私は1種地盤の、
0:47:00	申請の基本方針に書いてある物性と、
0:47:03	実際の使ってるものでその補足説明資料なりで、基本的にこの分、地盤物性値を、
0:47:10	記載してないで、
0:47:13	いわゆる
0:47:15	上位文書の基本方針書の方で全部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:21	紐づけてるといふ、
0:47:23	担保の中で、今、ような形で一対一対応してないかどうか。
0:47:28	それ、読めるかどうか、総点検して欲しいんだけど、そうしないと、
0:47:33	ここの項認定は、途上終わらないので、うん。
0:47:37	保障上の不備があるって形になっちゃうんで。
0:47:47	はい。
0:47:49	うん。はい。
0:47:51	はい。中国電力の高松です。ちょっとこちらの保管アクセス数のですねこの周辺構造物の評価の説明のところですねそういった物性値の説明が抜けてて、それ以外のオク10系であったりとかですね。
0:48:07	溢水であったりとか、はっきり言ってこれまでご説明した当初はですね、ちゃんと物性値の説明と地盤の申請の方でご説明したやつ、物性の紐づけももちろんしておりますので、
0:48:18	今回アクセスの資料についてそういったところが足りてなかったところは、修正しないとイケないなと思いますんで、次回、実態としまして、地盤の申請の御説明の物性、
0:48:29	こちらを使って、今回4構造物は評価しておりますので、きちっと紐づけもできておりますので、きちっとその整合とれておりますので、あと示し方が、
0:48:40	足りないところは、ちゃんとお示しするようにします。以上です。
0:48:45	規制庁の江崎です。基本的には
0:48:48	このアクセス以外のところは、一応対応は確認済みだということで理解しました。
0:48:54	中国電力清水です先ほど全体的に見直すという話がありました。今回の資料もですね背方針の方に書いてあるものを使っておりますけど、さっき図面のところにふくそうという言葉があってちょっと混乱を招いたところもあると思いますので、
0:49:11	言葉の定義とですね紐づけ、それから全体の確認、これしっかりさせていただきたいと思います。以上です。
0:49:19	はい、規制庁チギラです。先ほど高松さんの説明の中でサイズ段の話があったんですけど許可時にですねサイズだ人の友利斜面については安定性の確認はしていたんですけどそことの紐づけとかですね。
0:49:37	あと、
0:49:39	そうですね。
0:49:41	ちょっとそのやっぱり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:43	どういう、どのような管理してるのかっていうのが気になるので、はい。
0:50:00	そこで試験、
0:50:14	はい。
0:50:15	安井。
0:50:21	はい。
0:50:22	あのサイズだ 2 のところとこのサイズ 2 のところに向かう途中の、
0:50:27	小森森戸なんですかね。ちょっとその辺も、位置関係はちょっとあれだったのでその同等だっていうことがですね、説明できるような形の資料をですね、
0:50:38	拡充していただければというふうに思いますのでよろしくお願いします。
0:50:42	はい。中国電力の高松です。ご指摘承知しました。材料面であつたりですね、管理面、そういったところの観点から、
0:50:52	同等性というか、物性値としての同等性、こちらをご説明できるようにしたいと思います。以上です。
0:51:29	はい。他に確認する点がある方お願いします。
0:51:42	はい。規制庁仲村です。何点か私の方も確認させてください。
0:51:49	で、まずですね資料 3 の、
0:51:52	18 ページ。
0:51:59	ちょっとこれも数、今の話に近いところかもしれないんですけども、
0:52:06	18 ページ以降、解析モデル自体が示されてるんですけど、そのまずちょっとお聞きしたいの解析領域の幅。
0:52:14	とかのですね考え方っていうのが、他の解析とかの時なんか、構造物の何倍とかって言うてよく説明されてるんですけど、
0:52:25	今回についてこれ 18 ページのところ、どういう考え方っていうのが多分書かれてないと思うんで、まずちょっと考え方を教えてもらって記載のほうを追記してもらいたいと思いますけど、いかがでしょうか。
0:52:44	中国電力のサダタニです。衛藤モデルの幅と高さの考え方は特重設備と同じで、ジャグのっとして、幅は基礎幅の 5 倍以上、
0:52:55	高沢土岐側の 2.5 倍以上ということで十分ヒロイモデルを作成しておりますんで、その考え方についてちょっと記載ができておりませんので、その
0:53:08	辺りについても記載拡充させていただきます。以上です。
0:53:12	はい、わかりました。ただですね、普通の、今までの解析だったらもつと範囲、解析範囲、
0:53:19	小さいと思うんですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:21	おそらくこれって、
0:53:23	地形の影響とか、トンネル何で地形の周辺の
0:53:28	影響するような範囲っていうのを考慮して、多分これだけ広い範囲、書かれてると思うんですけど、そういうことでよろしいですか。はい。中国電力ヨシツグでございます。今仲村さんおっしゃられた通り、
0:53:42	トンネル部分につきまして上の山の地形、この影響があるんじゃないかということちょっと幅広になっております。下の方のカルバートにつきましては埋め戻しの中に入っているということで、まずそれを全部、
0:53:55	領域としてモデル化したいと。
0:53:58	さらに外が地上の地形の部分で影響のある範囲までということで、ちょっと幅広ではあるんで、他の構造物に比べると、幅広なんですけれどもそういったことで、モデル化の範囲を決定しております。以上です。
0:54:34	はい。
0:54:43	はい。規制庁仲村です。セ今説明していただいたところ、こちらも当然広くなるっていうのは理解してるんで、そういうところが記載っていうんですか。
0:54:54	説明がないというところで、記載の方、充実をお願いしたいと思います。
0:55:00	すいません、もう1点は、ちょうど今、トンネルの方になってるんでちょっとついついでというか、聞くんですけども、
0:55:10	12 ページ、
0:55:13	今トンネルのところでは、
0:55:17	この解析でいいと思うんですけども、そのちょっと図面とかがあつてちょっと私初めて見たんでこれで説明を聞くんですけど。
0:55:27	12 ページで横断の縦断の断面図があつて、これはちょっとトンネルの話と違うんですけど、
0:55:36	今この絵で見ると地震のことを考えた時にアーチカルバートの方の、
0:55:43	坑口の方の
0:55:45	滑り、
0:55:46	とかっていうのは、他のところとかで、
0:55:50	検討とかされてるのかっていうのをちょっと、
0:55:53	今、話ずれますけど、ちょっと教えてもらいたいんですけど。
0:55:57	そういうのって、検討とかっていうのはされてるんですか。他のところで、
0:56:07	普通これ一般的に考えたらこれ、こういう地震とか起こった時ですね、多分、左側のトンネルのところって正直、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:15	あんまり影響ないだろうと思ってますしそういう意味で言うと、さっきも守田の話が出てきてましたけど、一番ハヤシじゃ危ないっていうのは、多分小口の辺りの、
0:56:26	森園あたりがこう、
0:56:28	すべてで場合によっては値カルバートも一緒に持っていくとかそういうところがちょっと心配かなっていうところで、そういうような、他のところで検討しているのをされてるのかっていうのをちょっと聞きました。
0:56:41	中国電力清水です。この断面を対象にですね解析した分というのは、確か今までご説明してないと思いますただこの守田斜面の高さとか勾配見るとですね他の断面に代表させられると思いますので、
0:56:54	ちょっとそこらあたり追記がもしご懸念、理解しましたので、り、その辺整理できるように、検討してみたいと思います。以上です。はい。
0:57:11	嘘。どこに記載するかっていうのをちょっとお任せしますけども、そういう観点が、漏れがないようにっていうことをお願いします。
0:57:19	あと、すいません。盛田の話が出たんで、ちょっと、
0:57:26	ついできていうか、図の話だけなんですけど、平面図とか示されてて、例えば、
0:57:33	資料で言うと 8 ページとか 9 ページとかで書かれたりはするんですけども、
0:57:39	トンネルのラインは引かれてるんですけど、盛どの範囲っていうのがちょっと平面的に、すいませんわからないんで、ちょっとこう、図の中です、
0:57:53	別途図を入れるのか、8 ページのところ、何となく地形図であるんで谷に埋めてんのかなっていうところは何となくわかるんですけどちょっとそういう、
0:58:04	森どの範囲っていうのが平面的にわかるようにですね、ちょっと示してもらいたいんですけど、いかがですか。
0:58:15	はい。中国電力の高松です。承知しました。8 ページ、9 ページの平面図をちょっとうまく活用して、森野範囲をお示ししたいと思います以上です。
0:58:27	はい。よろしく申し上げますトンネルの方は以上です。続けて最後 1 点ですけど、連絡通路のところですね。
0:58:35	資料で言うと 26 ページですけども、これ、図の話ですけども、
0:58:41	26 ページの下の方の断面の図ですけど、
0:58:47	真ん中ぐらいに土石流っていう、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:58:50	引き出す線があるんですけど、
0:58:53	これは、
0:58:54	アクセスルート上に土石流が流れたってということですか。
0:59:06	はい。中国電力の高松です。こちら連絡通路ですけども、24 ページGの概要のところろう、
0:59:17	ですかね、こちらの2行目に示し、ちょっとしてるんですけど、この設備の位置付けが、土石流の影響を受けない、アクセスルート要員が通行できるルートということで、確保したルートでございますので、
0:59:31	今回の評価条件としてこの連絡通路の地中部分のところですね、土石流近畿圏9、溪流の範囲に当たりますので、その堆積荷重、こちらを考慮して、評価するというので今回評価を、を示しております。以上です。
0:59:48	すいません規制庁仲村ですけどそれは、
0:59:52	あれですかね、今の説明は、要するに、解析っていうか検討する時に、土石流の荷重を考えるっていうだけで実際には別に。
1:00:04	アクセスルートの
1:00:06	ボックスみたいな、コンクリートのものだけがあるってということですよ。
1:00:13	はい。中国電力の高松です。はい。おっしゃる通りです。ちょっとこの26 ページがですね、そういった何て言いますかね、
1:00:25	梶層ですね、土石流の堆積状態を模擬したようなAになっててちょっと混同したのかもしれないんですけど34 ページgをちょっとご覧ください。
1:00:40	はい。こちらですね、荷重と荷重の組み合わせを示しておりますけど、PのDというふうに書いております通り土石流の堆積荷重として、この構造物を考慮しておりますので、ちょっと
1:00:52	こちらの26 ページの絵ですね、こちらはちょっと適正化を図りたいなと思います。
1:01:24	はい。中国電力ヨシツグでございます。ちょっと絵だけを載せておましてタカマツは今言った通りなんですけれども、ちょっとここでお示したかったのは、
1:01:34	この
1:01:36	連絡通路の概略断面図のペントハウスのところまでは土石流というものが来ないので十分通行可能ですということをお示したかったことと、先ほど言いましたように土石流堆積、
1:01:48	郷の地震荷重として、評価してますと、ここは概要に少し記載がありませんので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:56	もう少し追記をさせていただいて、ここの改定の中身とあと概要の概略断面図の方にも、どういう趣旨でこういう絵を書いているかというの、地域の方、そして誤解がないようにさせていただけたらと思います。以上です。
1:02:10	はい、規制庁仲村ですはい。その点についてはありがとう。よろしく願いします。あとすいません最後、その上に平面図があるんですけど、今この絵だけ見ると、何かこう、
1:02:22	もともとの平面の図のところ、
1:02:25	その連絡通路というのが赤い色だけで示されてるんですけど、ちょっとこれ多分、現状、
1:02:34	何て言うんですかね。
1:02:36	マンメイドロックのMMRの範囲とか、何か改良地盤とか、
1:02:42	埋戻コンクリートとか、現状、この絵になってないわけですよ多分平面図、そうすると何かこう、
1:02:50	ただ単に旧地形に赤色のライン引いただけみたいになってるんでそこもちょっとこう、
1:02:56	合わしてもらった方が、
1:02:59	としては、
1:03:00	いいんじゃないかなと思いますけど、いかがですか。
1:03:11	はい。中国電力の高松です。26 ページの概略平面図ですね、ご指摘いただいた趣旨を踏まえて、ちょっと修正を検討します。以上です。
1:03:20	はい。よろしく願いします。私からは以上です。
1:03:29	はい。
1:03:30	尾藤チギラです。それでは引き続きですね、説明いただいた四つの構造物、
1:03:36	に関して、
1:03:37	確認する点がある方お願いします。
1:03:47	規制庁のハツリです。私から何点か確認します。
1:03:52	まず 1 点目は、
1:03:56	今回、江田岩谷トンネル、
1:03:59	の評価をしてるところなんですけど、
1:04:02	これどこか 2 個の地下水がTP20 メートルぐらいですよという、
1:04:08	そういう条件を入れたいもらえないでしょうか。
1:04:12	けっきょく食う液状化対象層があるので、
1:04:17	ということと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:20	大体土木構造物の場合は、地下水位が幾つにありますよっていうのは、ワンパターンとして、
1:04:26	どこでもついてるもんなので、
1:04:28	その記載を入れといていただければと思いますがいかがですか。
1:04:37	はい。中国電力の高松です。承知しました地下水のレベルもですね、確認しておりますので、資料中に、埋戻動をの方のレベルより十分低いというところを、
1:04:48	わかるように、お示したいと思います。以上です。
1:04:51	規制庁のハツリですはいわかりました。
1:04:54	ちょっとトンネルルー、今回トンネル構造物ということで、ちょっとあまり、ちょっと馴染みがないので何点か確認だけさせていただくんですけど。
1:05:04	この本地区例えば 10 ページ、
1:05:08	このアーチカルバート形式のこのセキをする際って、
1:05:16	なんて言えばいいんだろう。
1:05:19	端っこのところっていうんですかね、この支持力の評価っていうか支持性能の評価って、普通やらないんですか。
1:05:36	はい。中国電力の高松です。実際には支持性能の評価はやっております。で、やっているんですけど、今回ですね、アクセスルートの今回、通路にあたる構造物ということで、
1:05:50	確保するべきは通行性というところかなと考えまして、もちろん構造の健全性と、あとは変状による通行性、こちらに着目しましたんで、今回こういった許容限界といいますか評価項目を設定させていただいております。もちろん支持性能のところも、
1:06:07	確認をして、必要な支持性能があることを確認します。以上です。
1:06:13	規制庁のハツリです支持性能を確認してるということで理解したんですけど。
1:06:20	通常の計算書の体裁として、
1:06:24	いらないのかなっていうのがあって、
1:06:27	なんです、えっと、
1:06:29	いやトンネルなのでいらない、普通やらないんですっていうことの回答だったら、そうですかってなったと思うんですけど。
1:06:36	やってますとかいや、いや普通やるんですということなら、普通、何らかの形で入れとくんじゃないのかなって少し思いましたがいかがですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:57	はい。中国電力の高松です。ご指摘いただいたこちらのカルバートのところはですね、設置箇所が盛りどう上の地盤に設置されるというところもありますので、
1:07:08	こちらについては支持性能のところもちゃんとお示しするようにしたいと思います。以上です。
1:07:14	規制庁の服部です。わかりましたどうしても、してくれということではなくて、トンネルの一般的な設計の考え方で、
1:07:24	やってないっていうんだったらそれはそれでいいのかなと思ったんですが一応、
1:07:30	つけていただいけるということなのでそれで承知しました。はい。中国電力のヨシツグでございます。通常後カルバートの設計でいきますとやはり沈下による段差、
1:07:41	によって通行性という観点で、江藤、そういったところでの評価っていうのが、通常でございます。で、今回ちょっと我々がやったのは、他の土木構造物と同様にですね、埋戻量の部分に対し本当に
1:07:56	接地圧として十分対応できるのかどうかというところの観点でやっておりますので結果はお示ししたいと思います。以上です。
1:08:04	規制庁のハツリですはい、わかりました。あと2点ほど、ちょっとこれもあまりこうトンネルで馴染みがないので確認するんですけど、
1:08:13	こういうトンネルみたいな円形構造物ねえ。
1:08:21	層間変形角で今回評価してるんですけど、
1:08:25	この層間変形角をこの円形の断面に適用するっていうのは、
1:08:31	この何かどっか2 そういう事例があったりとか、一般的にやってるものなんでしょうか。
1:08:46	中国電力のサダタニです。一般的にやってるかどうかと言われると、あまりやってるものはないんですけど、今回モデル化をMΦモデルでしてるっていうところがあって、
1:09:00	簡単にひずみとかが出るものではないので、今回、層間変形角の方で評価させてもらったっていうところになります以上です。
1:10:21	はい。
1:10:32	規制庁の江寄ですけども、基本的に言うと、こういった形状の場合って、Kakehiじゃないと。
1:10:39	もうなじみがないっていう、僕としては適用外だなと思っていて、
1:10:46	基本的に、
1:10:47	何の何で出したんですかって言ったら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:50	柱、
1:10:51	とかは、はい具志堅っていうか、どっちかって柱だよね。実験から出しているんだよね。
1:10:57	中のものってちょっとわかりにくいですよ。そうした場合普通設計として設計者すると、適切なことをどう考えるかっていうと、局部評価なんですよね。
1:11:08	そもそも、
1:11:10	なんで、
1:11:11	こういうような層間変形角に、
1:11:14	考え直したのかって昔は全部局部評価として土木は議事録に関して
1:11:19	ただ、かなり現職の場合は、
1:11:22	時間の継続時間も長くなるし、地震のね、全部動的解析に基づくものになっているので、なかなかその曲げ軸力も
1:11:33	時々刻々全部評価していくのは、大変な作業になるんで、層間変形角という
1:11:40	仕様に置き換えただけなんですよねでもそれは基本的柱、梁の中で1%100%オチアイ100分の1か。
1:11:49	層間変形角っての一致して、
1:11:52	設計安全形はそれで十分だっていう判断しているんで、そういうところもモリモト局評価にはなるんだけど、
1:12:00	ただ、
1:12:02	層間変形角は、
1:12:05	不当でも使える子、ここの場においてもですね、使えるという、
1:12:10	説明はあるんだと思うんですよ。適用性という観点でそうしたどうするかって言ったらあれですよ。竹田モデルで使ってたっけ。
1:12:18	竹田モデルで出てきてるんであればもともとさ、
1:12:23	MCmyMUっていうものを求めて使ってるんでしょから、そこから見た。
1:12:29	話で、例えばMUに十分到達してないとかですね、言った説明はできるはずなんですよね。
1:12:37	全体見渡してもね。
1:12:41	だからこの項、
1:12:44	層間変形角使ったとしても結果的には、耐震性、
1:12:48	の観点で、何ら影響を及ぼすものではない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:52	それであれば解釈できると思いますんで、そこはやっぱりちょっと検証なりその適用性といった検証等を見せていただく必要があるかと思いますがいかがですか。
1:13:05	はい。中国電力の高松です。衛藤。今江崎さんにおっしゃっていただいた通りですねこちらカルバートを構造ですね、どういうふうモデル化してですね耐震評価するっていうところからちょっと、
1:13:17	いろいろ悩んでですねファイバーでモデル化ができなかった手前ですね、MIでモデル化して最終的にはこの層間変形角で芸の評価をしたっていうのが実態でございますんで、
1:13:30	我々の今の説明でちょっと抜けてるのが実際は、柱とか、そういった縦部材で見るべき、
1:13:39	層間変形角に対して今回このカルバートの構造、層間変形角 100 分の 1 でやってる、こういったところが本当に適用して説明ができるのかっていうところはもうちょっと掘り下げてですね、検討してご説明したいなと思います。以上です。
1:14:25	はい。
1:14:26	はい。中国電力の高松ですコメントの趣旨に生じました。このそこら辺計画 100 分の 1 の許容限界設定の適用性の検証。
1:14:37	こちらはちょっとやりたいと思いますんで、改めてご説明させていただきたいと思います。
1:14:57	あ、規制庁のミウラですけど
1:14:59	今の層間変形角でいかれるならば、これ他のところもそうなんですけど、どこのポイントとどこのポイントのね、層間変形角とってるかってこれ明記しておいていただきます。
1:15:12	はい。中国電力の高松です商社、どこのポイントでとっての層間変形角評価明記するようにします。よろしくお祈いします結果的には非常に小さい変形角なので、問題にはならないと思うんですが、
1:15:24	やはりちょっと、地形で相関変形角っていう枠ありますよね。
1:15:30	はい、中国電力の高松です。承知しました。
1:15:35	規制庁の服部です。では私から最後、今の四つの施設については最後の確認になります。
1:15:42	55 ページお願いします。
1:15:46	丸さんの資料の 55 ページをお願いします。
1:15:50	ここに地中部のところで補強部っていうのがあるんですけど、
1:15:55	この補強部に対するちょっと説明が何か不足しているような気がして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:03	何でそういうことを思ったのかというのは、次のページの 56 ページのところ表の 7-2-6-7 のところで、
1:16:12	補強部の方が、ばね定数が小さいんですよちょっとね、
1:16:17	補強して強くなればばね定数で大きくなるんじゃないかな。
1:16:22	とって。
1:16:24	なぜかなっていうところからひもといたら、補強部って何が良く、どういふ補強されていて、
1:16:31	何かよくわかんなくて、
1:16:33	ちょっとここで、
1:16:36	詰まったので、
1:16:38	まずどういう補強をされていて、どういう理由で補強部の方がばね定数が小さくなったんかっていうのを説明していただけますか。
1:16:56	中国電力のサダタニです。H小江戸、49 ページで、ちょっとわかりづらいんですけども、1 号の支柱に対して補強プレート板を当てとる。
1:17:11	出ている様子がこの絵を見ていただいたらわかると思うんですけど。
1:17:16	地溝のフランジの部分に板を当てとるっていうそういう形ですね。
1:17:21	その板と、支柱の剛性を考慮した上で地盤ばねをどれ少々
1:17:29	の下部構造編のところから、バネ設定してるっていう形になります。以上です。
1:17:36	規制庁の服部です。この補強は、
1:17:41	ちょっとよくわからないんですけど、
1:17:43	H行の重圧面積が増える。
1:17:47	うん。
1:17:48	増えてない。
1:17:53	中国電力のサダタニです重圧面積が増えるというよりは、渥美が阿蘇そうですね
1:18:00	分団面積が大きくなるとか、そそういう形ですね、以上です。
1:18:05	規制庁の服部です。フランジの上に、
1:18:09	鉄板を張って、
1:18:12	フランジを、
1:18:14	一体化されてないんでIEの計算はちょっといろいろあるんでしょうけど、
1:18:20	少し厚くしてるってそういうイメージですか。
1:18:24	中国電力のサダタニその通りです。
1:18:28	規制庁のハツトリですわかりました。
1:18:31	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:32	これ国の方の剛性を上げると。
1:18:35	2 番までは小さくなるんですけど、それともこれ、浅い部分なので、
1:18:40	地盤ばねが小さいんですけどここ小さくなるっていうのはどういうこと なんでしょうか。
1:18:47	その地盤の、中国電力のサダタニでその深さによる影響か、その剛性 が効いてきてるのかっていうところまでが、ちょっとごめんなさい今、説 明できないので、
1:18:59	次回のところでちょっと記載を拡充してその辺がわかるようにしていきた いと思います以上です。
1:19:13	規制庁のハットリですはいわかりましたえと。
1:19:16	そうですね米か何かで、
1:19:18	何か、
1:19:19	補強部の方が小さく理由を書きいただくののも一つですし、あとわ あ、そうですね補強。
1:19:28	どうしようかな、これはちょっと悩ましいところですけど。
1:19:32	何か
1:19:34	フランジに鉄板を張ってますっていうことは、少しわかりにくいので、何 かこういうような補強なんですっていうのが少しわかりやすくなると。
1:19:44	いいかなと思うんですが
1:19:46	ちょっと気になったのは、結局、
1:19:50	0 のところにコンクリートで巻いてるのと待てないのがあるじゃないです か。それなのかなってちょっと思ったんですよ実は。
1:19:57	ちょっとそこら辺もあって、ちょっと紛らわしくあったので、ちょっと補強部 ってところの、
1:20:04	説明を少し拡充していただければなあとはい思いますちょっとこれはマス トじゃないんで、ちょっとご検討いただければと思います。
1:20:13	はい。中国電力高松です。補強部の補強プレートの構造ですね、平面 図で上から見たような形がよくわかるようにするとか、ちょっと見せ方を 工夫させていただきまして、
1:20:24	構造がよくわかるようにお伝えしたいと思います。以上です。
1:20:28	規制庁の服部ですわかりましたそうするとあれですよ評価のところも 補強部と一般部で分けて評価してるんですかね、9 のところに出野区 のところは、そういうことでよろしいですかちょっと見てないんですが、
1:20:44	はい。
1:20:49	こんだけ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:20:53	中国電力のサダタニです国の部分も含めた上で評価をして、今回の評価断面の中で一番厳しくなったものだけを代表で載せさせてもらってます。以上です。
1:21:06	規制庁の八田です。だからこの 57 ページ 545kNは補強のところになってことですよ。ここ、この起きて、大きなのが出たのでここは補強しないと、持ちませんでしたとそういう、
1:21:18	考えでやってるということで理解をしましたので結構ですはい、ありがとうございます私から以上です。
1:21:28	規制庁の江崎ですけど、今のところでね、残念で、コンクリートを補強してんじゃ、
1:21:33	あそこって大丈夫っていうのがあって、コンクリー等、要は、地盤ばねとかそういう固定とを、
1:21:43	麻生コンクリートの影響も含めて、
1:21:46	検討してますかっていう。
1:21:52	あと中国電力のサダタニですこの一番までの設定のところは、MMRから決めてるんじゃなくて周辺岩盤のCM級岩盤、
1:22:00	のところから物性設定してるので、このMMRは自主設備といいますか、そういうことではなくて、
1:22:06	何で懸念してるかっていうと岩盤だから多分コンクリートとほぼ相当ではないと思ってるんだけど、
1:22:13	例えば、
1:22:16	全中でね加来加来はい電柱なんかいうの被害っていうのは、基本的に、
1:22:21	こっち側のところは折れちゃうんだよねそれ。コンクリート舗装のところで、それを使うと大体そこ折れてしまうという、言われていて、今、大体が皆、その辺は、
1:22:30	漏れないように、阿蘇アスファルトで補強して、割と、
1:22:35	急激な応力集中を薄さ妨げるようにしてるんですよ。
1:22:39	昔の十勝大地震で 2 回ともね皆おぼれちゃってて、そういったことも教訓で今、全国ツアーしているので、
1:22:48	今言った話で、
1:22:50	岩盤相当で、いや、いや、うん。
1:22:53	であれば、そこで全体としては、
1:22:55	地表面って基本的に言うと、固定短というイメージか片持ちばりっていう状態。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:01	だと思っんで現状から言うとな。
1:23:03	それがちゃんと動きできてるんであればそこはいいかなと思います。以上です。
1:23:09	はい。中国電力吉田さんのおっしゃられる通り、十分な理事長を入れて、あさっこうした周りもモルタルで充填して、衛藤。
1:23:19	ちょっと岩盤が浅かった、深かったところについて今コンクリートで埋め戻している。ただし岩盤で地盤ばねのほうを設定しているという設計をしておりますので、
1:23:30	最終的なちょっと舗装のところは、すいませんちょっと私も今最終確認できてないんですけど、おそらく舗装でやっていたアスファルト舗装だったと思っております。
1:23:41	はい、すみません朝日東方層理がありますので、そういった概念でこの設計をしております。以上でございます。
1:23:49	矢崎ですが、基本的にはね。そういう
1:23:52	過去の被災事例も含めて安全側に考慮して施工されてると理解しましたのでこれで結構です。
1:24:09	規制庁の三浦です。今のやつ、54 ページ 55 ページ、少し確認だけさせていただきます。
1:24:17	これあれですか。
1:24:19	これ上の方に設計用地震力突っ込んでるんですけど、これ地下部は何も入れてない。
1:24:26	地震力。
1:24:27	上部架構だけに出てきてるっていうふうに今だったんですけどどうなんですか。
1:24:38	はい。中国電力の高松です。ちょっと確認しますので少々お時間ください。
1:25:00	はい。中国電力の高松です。この 54 ページにあるようなですね水平鉛直の設計を地震力をですね、下端から上端までですね、全線にわたって、慣性力として採用されているというのが実態です。
1:25:16	いいですか。それ、杭部門を、この一文入れてるんですか。はい。かなり保守的に見てるってことですね。
1:25:22	わかりました了解ですんで。
1:25:24	あと 55 ページさっきハットリからの話もあったんですが、補強部がどういふ補強してるかってことも含めて、
1:25:31	これ部材諸元をね駄目 0 どういうもん入れてるかこの解析モデルに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:36	それは追記しといていただけますか。モデルだけ出てて諸元が全くない。
1:25:42	そうなので、
1:25:43	すいませんがお願いしたいんですがいかがですか。はい。中国電力の高松です。失礼しました。この柱とか、断面性能ですね、こちらはもう足りておりませんので、追記します。以上です。
1:25:57	はいお願いします。それとあと、66 ページ、6667 か、
1:26:04	補助消火水槽の設計地震力出てますけど、これ入力加速度をから設計地震力を変えてるんだと思うんですけど、入力加速度ってどっか出てますか。
1:26:15	書いてないならばそれもちょっと追記しておいていただきたいんですがいかがですか。
1:26:23	はい。中国電力の高松です。はい。承知しました。コメントのご趣旨は、67 ページに設計震度の設定は書いてあるけども、その加速度応答の情報がないという、そういうご理解では、66 ページの右上の入力地震動これを
1:26:43	加速度を震度を変えられてるんだと思うんですが、その振動のベースになる根拠がないので、それをちゃんと記載してくださいというお願いです。はい。中国電力の高松です記載不足、失礼しました。
1:26:56	おっしゃっていただいた通りで 66 ページの入力地震動って書いてある、EL15 メートルレベルの加速度応答、こちらを震度換算しておりますので、そちらの加速度レベル、そちらを追加ご説明させていただきます。よろしくをお願いします。以上です。
1:27:16	規制庁の服部です。
1:27:19	小俣話じゃないんですけど、先ほど三浦の方から、
1:27:22	断面線の断面定数をつけるということを、多分表でつくんだと思うんですけど、そうであれば、先ほど言った補強。
1:27:32	の方、補強のところの詳細な図面っていうのは、
1:27:36	そこにつけておいていただいた方が何か、それだけ独立して何か説明するよりも、さらっと流れるような感じなので、ちょっとそこら辺、
1:27:47	ここではならない資料がごちゃごちゃにならないように少し工夫していただければと思いましたので、ちょっと一言だけ言わせていただきました。以上です。はい。中国電力の高松です。承知しました。補強部と一般部。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:01	との構造であるのと、あとその断面性能ですね、それは一対一の関係だと思えますので、そちらを飄々をうまく使いながらですね、関係性がわかるようにお示ししたいと思います。以上です。
1:28:19	いいですか規制庁のお話です。
1:28:21	第2 和田和田にトンネルなんですけれども、
1:28:25	9 ページに、
1:28:27	AA断面とB断面の、
1:28:30	断面があって、トンネルの内腔寸法が。
1:28:34	A断面とB断面で、1.2 メーター、水平方向が違ってて、
1:28:39	同じ1本のトンネルなので、途中で、
1:28:43	幅員変えないほうが層厚上は安全じゃないかなと思うんですけど、ここはどういう考えでしょうか。お願いします。
1:28:52	はい。中国電力ヨシツグでございます。おっしゃられる通り幅員は変えずにですね、外側の炉則たEの方がちょっと広がるような、そういったラインを引いております。以上でございます。
1:29:04	規制庁大橋です。了解しました。
1:29:08	それと先ほど、
1:29:11	はお話あったんですけれども12 ページに、
1:29:15	縦断方向の図面があって、
1:29:21	トンネルの車両通行性の評価としての残留変形量はやっぱり横断面で見るとは、中段方向の
1:29:30	あと国井アーチカルバート部が、ブロックカーはて分けられてますから、そのブロック間の目地っていうのが横になると思うんで、
1:29:41	ここは
1:29:42	資料の補強があると思いますので、
1:29:46	縦断方向について、どう評価をどう考えるかっていうのもあわせて、
1:29:51	示していただきたいなと思いますお願いします。
1:30:02	はい。中国電力の高松です。縦断方向の変形評価といいますか、通行性の観点にはなるかと思えますけど、こちらにつきまして
1:30:12	23 ページをちょっと一度ご確認いただいてもよろしいでしょうか。
1:30:19	はい。
1:30:20	こちら横断方向ですね、トンネルの横断方法に対して、どういった変状が起こり得るかというのを示した鉛直変形図になっておりまして、
1:30:33	先ほどご説明でもさしていただいた通りで永久切り方向で1センチぐらいの沈下が想定1センチ以内の沈下が想定されるということなんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:43	こちらが縦断方向に考えましても、車両の通行性を阻害するような、その目地部の段差には繋がらないっていうのが今回の我々の評価結果なんですけど。
1:30:54	そういったところが、ちょっとこの縦断方法のご説明でちょっとお伝えできてないところあるかと思えますんで、説明で確認させていただきたいなと思えます。以上です。
1:31:05	規制庁大橋です。了解しました。以上です。
1:31:12	規制庁のコバヤシ付はちょっと、
1:31:16	記載の修正だけちょっとできればと思ひまして、資料3の、
1:31:20	何ページだったっけ。
1:31:23	あれさ、54ページなんですけど。
1:31:27	確認なんですけど
1:31:30	ちゃんと加速度応答スペクトルですけど、
1:31:33	減衰入ってないんで一応入れて欲しいということが一つと。
1:31:36	それから、水平の方で10秒上に、もう絵があつて、ちょっと上1ずれがずれてるんで、
1:31:43	ちょっと見方と私スペクトルの、
1:31:46	時間が違うかと思つて勘違いしちゃつたんで、できればして欲しいなということが一つ。
1:31:51	それともう一つは確認で延長分ZPAは短周期なんでかなり剛なんで、
1:31:58	この辺りを使うことはわかるんですけども、一応延長コードこういう周期0.0153ってあるんで、一応清も入れてもらったほうがわかりやすいかなと思ひましたけど。
1:32:09	どうでしょうか。
1:32:13	はい。中国電力の高松です。54ページの設計床応答スペクトルの記載について、3点、修正箇所を生じましたので、次回、修正してお示したいと思ひます。お願ひします。以上です。
1:32:35	はい。規制庁木村です。それでは四つの構造物についての確認は、はい。とりあえず、一旦ここで終わりたいと思ひます。
1:32:44	いいですか。
1:32:51	あ、すいません規制庁のタダウチなんですけれどもすいませんちょっと簡単な確認だけちょっとさせてください。
1:33:00	資料の3-9、9ページなんですけど、
1:33:06	第2和田にトンネルのところは駄目BB断面あるんですけども今回は2第2トンネルと称してるのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:19	これ新しく
1:33:21	作った子、コンクリートの部分だけを言ってるのか、それとももう既設のものとおわせもって、両方を言ってるのか。
1:33:31	どっちなんですか何か評価を新しい方だけでやってるっていう感じなんですけど。
1:33:37	古い方にはもう一切期待しないから新しい方だけでやってますよっていうそういうことでよろしいんですかね。中国電力、ヨシツグでございます。今田内さんおっしゃられた通り、新しいもののみでの、トンネルとってそこの評価だけをしております。以上でございます。
1:33:53	はい規制庁忠てそうすると何か既設のもの新しいものなんか一体性に期待するだとかそんなものは一切ないということよろしいですかね。はい。中国電力、知久でございます。そういったところで期待はしておりません。はい、理解しましたはい。
1:35:09	はい。伊勢じゃチギラです。それでは四つの構造物は、はい。一旦終了いたしまして、
1:35:16	では適正化ですかね。はい、説明お願いします。
1:35:29	はい、中国電力大窪です。
1:35:32	適正化としまして、資料番号1の19ページ。
1:35:36	お願いします。
1:35:48	ナンバー467。
1:35:51	についてですが、
1:35:54	詳細な内容は、適正化内容に記載の通りとさせていただきますが、
1:35:58	地中埋設構造物の幾つかの、
1:36:03	以前まで48構造物を示しておりましたが、その中で幾つかの構造物、例えば通し番号22で、
1:36:10	仮設耐震構台。
1:36:12	の追加をしたりですとか、その他削除、入れ替え、
1:36:17	名称変更というものが幾つかございます。
1:36:20	これは、現場の改良範囲であったり、アクセスルート的位置関係等を精査した結果を反映した内容となっております。
1:36:32	はい。ナンバー467は以上になります。
1:36:38	資料。そうですね、3ページ。
1:36:42	ページ数で言いますと、
1:36:47	そう違う。
1:36:50	発症。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:54	資料③、資料③の 76 ページ。
1:36:58	お願いします。
1:37:06	はい。
1:37:08	こういった表がこの後にも、
1:37:11	出てきましてきますところですけども、
1:37:14	江藤埋設構造物が 1 から 47 ございまして、
1:37:19	今の趣旨、ご説明させていただいた。
1:37:22	適正化の趣旨で、
1:37:25	名称変更等、更新を行っております。
1:37:33	続きまして、適正化としまして、
1:37:36	資料番号 1 に戻ってもらいまして、18 ページの 465 番、お願いします。
1:37:48	適正化内容としましては、第 2 保管エリア及び第 4 保管エリアにおける 地表面での鉛直最大応答加速度の見直しに伴い、次、一番、
1:37:58	支持力の再評価を実施しました。
1:38:02	し、
1:38:03	資料番号 3-1 ページをお願いします。
1:38:18	保管場所における地盤支持力評価について、
1:38:22	鉛直最大応答加速度の引用元、
1:38:26	である入力地震動、
1:38:29	間形最大事項。
1:38:32	重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動の更新に伴 い、表 5-1 において、第 2 保管エリア、第 4 保管エリアの鉛直最大 応答加速度を更新しております。
1:38:48	なお資料中に誤りがございましたので訂正させていただきます。
1:38:53	と第 2 保管エリアの鉛直最大応答加速度についてですが、
1:38:57	今 517Gal と書いてあるんですが、
1:39:00	正しくは 897 ガルとなります。
1:39:04	訂正させていただきます。
1:39:07	さらに 4 ページお願いします。
1:39:11	評価結果のところですが、第 2 保管エリアの地震時接地圧は、
1:39:16	0.4 ニュートンパー平方ミリメートルになりますので、
1:39:21	地震時接地圧に対する安全率は 3.0。
1:39:25	に訂正させていただきます。
1:39:30	以上です。
1:39:31	こちらの適正化の箇所は終わります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:37	すみません中国電力の高松です。少しこちらについては補足させていただきますと、先週の金曜日のヒアリングです、第2保管場所の入力地震動ということで、
1:39:50	改めて応答の結果をお示しさせていただきました。本来でありますと先ほど申しました通り、2、1ページで言うところの897ガルというのが、正解でございます、こちらに適正化すべきところをですね、
1:40:05	今回この517で、ちょっと誤った値でちょっと1回適正化してしまっている状態ですので、次回改めてですね、この897ガルが最新の正しい値になりますので、こちらで
1:40:18	評価をさせていただきます、4ページですね、支持力評価ですね、こちらまで一気に通貫で、改めて訂正をさせていただきます。大変失礼しました。
1:40:36	はい、規制庁チギラ絵図適正化は、はい。以上ですかね。失礼しました。中国燃料ほどです。残り2ヶ所ありますので、説明させていただきます。
1:40:48	資料番号1-20ページ。
1:40:50	ナンバー482番。
1:40:53	お願いします。
1:40:57	あと詳細な内容は、適正化内容に記載の通りとさせていただきますが、
1:41:02	補足説明資料、資料番号3-136ページをお願いします。
1:41:19	黄色ハッチングで文字で示して示させております通り、側方流動の評価について、
1:41:26	以前よりお示しておりましたが、
1:41:29	第7回補正の方ですね、飛ぼう排気の、
1:41:33	編み出し重力擁壁の地震応答計算書、
1:41:36	の内容の通りとしており、更新した解析モデル図を用いて再評価を実施しております。
1:41:45	その結果を139ページお願いします。
1:41:53	評価結果についてですが、アクセスルートにおいて、鉛直方向の相対変形量は10センチ、
1:42:00	でやって小さい。
1:42:02	ところで側方流動による、
1:42:05	段差評価への影響はないということを確認しております。
1:42:13	はい、失礼、元の数字が8センチ。
1:42:17	ですので、2センチほど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:42:21	増えて 10 センチと記載しております。
1:42:25	江藤最後になります。
1:42:28	こちら適正化とは少し異なる部分もある、ありまして、
1:42:33	資料番号 3-140 ページをお願いします。
1:42:40	こちら 17 番の第 4 崩壊量の変更に伴う影響について、
1:42:45	というところは、一部内容を拡充させていただいた箇所がありますので、
1:42:49	その内容をご説明させていただきます。
1:42:53	経緯としましてはプラント関係のヒアリングの時に、
1:42:57	第 4 保管エリアの段差緩和対策について説明するように、ご指摘を受けておりました。
1:43:04	その
1:43:05	プラント関係のヒアリングすでにご回答させていただいた内容がなるのですが、この場で改めてご説明させていただきます。
1:43:14	144 ページをお願いします。
1:43:25	こちらで段差緩和対策の、
1:43:27	平面図と断面図でお示しております通り、
1:43:31	車両の動線としても問題ないように、
1:43:34	幅約 4 メートル、延長約 20 メートルの
1:43:38	コンクリート置き換えを実施し、岩着させることから、不等沈下等による局所的な影響、段差は、
1:43:45	発生せず、可搬型設備の通行性に対して影響及ぶ及ぼさない構造であることをお示しております。
1:43:54	修正加増は、失礼、修正箇所は以上となります。
1:44:04	はい、規制庁チギラです。
1:44:06	はい。では、資料全体を通して確認が、
1:44:13	ある方は確認していきたいと思いますが、ちょっと時間も午前中なくなってきたので、端的に行きたいと思います。
1:44:20	すいません。私の方から見 2 点、すいません今日説明なかった②資料の、
1:44:27	ところで、
1:44:29	或いは資料の、
1:44:32	58 ページ。
1:44:40	のところの上の図の 3-7。
1:44:45	で、これ許可からずっと説明がある図なんですけど、
1:44:50	2 号、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:52	2号機南側モールド斜面、
1:44:55	があって、その
1:44:58	りく食うの範囲がですねしゃべった方の2倍っていうのがあるんですけど、それとですね、その安全対策工事との関係、離隔距離とかですね。
1:45:10	それと、それによる影響があるのかないのかっていう辺りについて、
1:45:16	その辺について今、
1:45:18	説明できることがあれば、
1:45:21	説明していただきたいです
1:45:23	カクウがとれてるのかとかですね影響あるのかとか、ないのかっていう、その辺について説明いただけますか。
1:45:39	中国電力の高松です少々お待ちいただけますか、すみません。
1:45:47	はい。中国電力ヨシツグでございます。アクセスルートとの離隔距離というふうなものでございますと、
1:45:56	安全対策工事に伴う掘削に伴いまして、この斜面等を切り飛ばしてる、そういったものはございませんので、以下距離は変わらないと考えております。以上でございます。
1:46:10	はい、わかりました。アクセスルートよりも、北川北川ということですよ
1:46:17	はい。中国電力ヨシツグでございます。もう少し言いますとアクセスルートが、ここでは当然に日本
1:46:24	15メーターはあるんですがその間、
1:46:26	のところ、
1:46:28	掘削していると、そういった状況になっております。以上でございます。
1:46:33	はい、わかりました。
1:46:35	それと、同じく②の資料の77ページ。
1:46:41	これ先ほど丸さんの資料で説明があったんですけど、
1:46:46	ちょっと記載ですけど凡例がちょっとおかしいなと思うのでこれを直しておいてください。はい。
1:46:58	はい。中国電力の高松です。大変失礼しました。丸さんの資料と合わせて、整合をとるように、修正したいと思います。以上です。
1:47:08	規制庁の江崎ですが、
1:47:11	安全対策工事の掘削との関係で、
1:47:15	この②番の資料の83ページ。
1:47:23	安全対策工事の掘削に関しては、記載は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:28	特に特段しないっていう話は理解してはいるんですけど、ちょっと確認なんですけど。
1:47:34	場所的に言うとね。
1:47:36	タンクの横なんですよ。いわゆる、
1:47:39	仮設構台間布設耐震鋼材をかけずに、
1:47:44	工事として、復興せずにするところ、
1:47:48	そこっていうのが
1:47:51	2号のタービン建屋、検証建屋、リアクター建屋の
1:47:55	横のタンク、
1:47:57	素行は一応今でも車両、
1:48:02	人員だけじゃなくて車両も通過。
1:48:04	鶴。
1:48:07	アクセスルートでしてるんだけど、
1:48:10	いわゆる道路幅とかは確保されているのかとかそういうのをちょっと確認したいんですけど。
1:48:16	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。今のタンクの東側のところにつきましては道路幅を確保しております。確か、
1:48:25	5メートル程度は、今現状でも確認できております以上です。
1:48:30	あとその幅とは、5メートルぎりぎり。
1:48:34	その辺の関係性をちょっと確認として、口頭ではなくて記載して欲しいんですよ。
1:48:41	そうしないとこって、未確認になってしまうんで、
1:48:47	はい。すいません衛藤本社の一部で中央電力の藤本です。タービン建物と原子炉建物西側の草刈に対するアクセスルートの営業の影響につきまして、
1:48:58	先日1月30日のプラント関係のヒアリングでも同様のコメントをいただきました。これにつきましては2月16日にこの補足説明資料を新たに追加しまして、
1:49:10	掘削エリアの明示、またそれに対して、本店長で拙速と作業に影響がないことを図に示して、図という文等で説明を予定しております。
1:49:21	その中に今ご指摘いただきました、下のタンクの脇のルート幅に対してどれほど確保しているか、通行できるかということも、回答を予定しています。道路幅につきまして先ほど5メートルとご説明させていただきましたが一番狭いところで3メートル

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:36	を確保してしましてその部分も、車両の幅に対して問題ありませんのでそこは明示して回答させていただきます。以上です。規制庁岩木です。
1:49:46	百々の方もあれだけど、何かあった時の、普通の方、避けて通るために炉型をカットするしたりするんだけどそんな余裕は全然ないってことです。
1:49:59	はい。中国でのフジモトですその通りでタンクの入口部分のコンクリートの、なんかどどんちよっと足場の部分があったりしてそこで一番狭いところで3メートル他のところがもうちょっと余裕ありますが一部そういう部分が、
1:50:13	あります。その部分も車両通行に、ホース展張に十分な幅は確保しておりますので、対応上問題ないと回答を検討しております。以上です。
1:50:24	規制庁の江崎です。その部分、
1:50:28	予定のないところを新たについていう話になってんですけど、今、私見ているのは、
1:50:34	安全対策工事による地盤の耐震性の影響評価方針という12月2日の資料を見てるんですけど、みんなちょっと用いられてないかもしれないですけど、
1:50:44	多分そのルートに知久農関係するところが、一応岩盤部盛敏保護工。
1:50:50	9
1:50:51	ラインなのかなと思うんですけど、その辺の意がよくわからないんですよ。
1:50:57	コンクリー東京とかなんかしてるのか、路面の部分。
1:51:02	その辺がね、実はよくわからないんで、ある程度その辺はですね、ちょっと確認させていただきたいと思いますんで、
1:51:10	あと実質的なところは、
1:51:16	あれだけ敷地内、
1:51:18	土木構造物ですか。
1:51:21	あそこで詳しい説明が
1:51:25	掘削面との関係性も出てくると思うんですけど、その説明の方が望ましいのかもしれませんが、
1:51:32	技術的にはいわゆる、
1:51:34	道路が、要はね、掘削に崩れないってことの説明は必要なんだろうと思いますけど。
1:51:43	それをどこで説明するのかはまた、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:46	何なんですかと対策対策を打つてと思うんですね工事としてね。だから、そういった説明をある程度していただく必要があると思いますんで、それはどこかで、今、
1:51:56	考えて説明いただきたいと思います。
1:52:00	はい。中国電力の高松です。今おっしゃっていただいたところこの三つのタンクエリアの東側の空洞箇所、掘削箇所との間のスペースのところかと思いますが、
1:52:11	ご指摘いただいた通りですね、その斜面といいますか、いや、通路の安定性、それと、すぐそれを別途、ちゃんとお示しするようにしますんで、
1:52:24	ちなみに申しますと、このF通路といいますか、この南北ラインっていうのは、岩盤上にMMRで置換しているところがあるんで、頑健性の通行ができる。
1:52:35	スペースは確保しているというのが実態です。そのあたりも絵で見えるようにしてお示します。以上です。
1:52:43	はい、木藤木田です。では他に確認する点がある方お願いします。
1:52:53	規制庁の服部です私からも②の資料で確認します。
1:52:57	まず、18 ページ、1 ではないですね、ごめんなさい 56 ページをお願いします。
1:53:07	表の 3-7 の一番下か 10 番のところなんですけど、
1:53:12	日和田に貯水槽の東側について、
1:53:17	地震により貯水槽が破損した場合でも、という記載がありますが、
1:53:22	ここ先日の説明でわあ、
1:53:25	輪谷貯水槽東側も、
1:53:28	基準地震動Ssに対して破損しない設計とスルーと聞いてるんですけど。
1:53:33	そこら辺に不整合はありません。このここの記載にその、それとの不整合はありませんか。
1:53:48	はい。途中伝令のフジモトこちら、おそらく地震の溢水のところの説明内容との整合に対するコメントと思いますがこちら内容を確認いたします。以上です。
1:54:00	はい規制庁のハットリですわかりました。ちょっと確認していただいて被害想定が、S-による貯水槽の破損になっていて多分これ破損しないように設計するってことなのでちょっと違うかなと思って。
1:54:11	確認をしましたのでちょっと確認だけお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:15	あと 73 ページをお願いします。
1:54:17	ここも記載なんですけれども、上から 123567 行目、73 ページの 7 行目ですね。
1:54:29	と、アクセスルート
1:54:31	アクセスルートが防波壁に、
1:54:34	近接しているほど、液状化に伴う影響が少ないので、ここはよく抑制されるという記載があるんですけど、
1:54:46	この記載って、適正なのかどうかというのを確認したかったんです。というのは、一般的に、地震の被害っていうのは護岸に近いほど被害が大きいついていうのがあるの一方あるのと、
1:54:58	書いてあることは少し理解できるんですけど、あるのと、
1:55:03	あと、結果として、
1:55:06	77 ページ。
1:55:10	これを見ていただいてもう、
1:55:13	防波壁に近いほど沈下量の差は大きくなっているので、
1:55:17	抑制される。
1:55:19	抑制されないんじゃないかなと思ってるんですがいかがですか。
1:55:26	中国電力の高松です。こちらの 73 ページで書かしていただいた趣旨は、74 ページGのところも見ていただきながら位置関係をちょっとご確認。
1:55:38	いただければいいかなと思ひまして、この 12 号北川っていうのが、多重鋼管杭式擁壁の防波壁と、あと 2 号機の取水槽の
1:55:49	に挟まれたエリアといいますか、地盤がですね、海側にも陸側にも、そこを流動しにくいエリアになっておりますので、
1:55:59	今回代表で評価しました 3 号機の北側エリアに比べると、側方流動の影響評価をするには、地盤の流動性が低い、エリア、
1:56:11	ということで、この 12 号エリアは、抑制されるというふうに記載されておりますさせていただきます。以上です。はい。中国電力吉住でございます。少し補足をさせていただきます。3 号機の北西側のアクセスルートにつきましては、
1:56:29	先ほどの、
1:56:31	74 ページの図の 3-1-13 の左側の方の絵なんですけれども、ここに
1:56:37	耐震性のない擁壁がございますアクセスルートの海側の方でございます。この擁壁のところ倒れていくことで、護岸に近づくほど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:51	沈下量、あと、あと相対、最終水平変位が大きくなっていると、いうこと でございまして、
1:56:59	北側の方は、耐震性のある杭に水平方向の側方流動を抑えられている ということだと考えております。以上です。
1:57:08	規制庁の服部です。はい何となくわかって入って確認しましたの。
1:57:13	護岸に近いほど被害が大きいというのは、当然護岸が来総称するから 被害が大きいっていうんで今回は、
1:57:21	防波壁が損傷しないというかほとんど変形しないので、当然、
1:57:27	そこら辺はあまり動かないだろうという定性的なことは理解できるという ことで、ちょっと確認したんですが、なぜこの 77 ページの結果が近いほ ど沈下量が大きくなっているのか、
1:57:39	何となくそこら辺で不整合、何か説明がちょっとおかしいのかなという 気もしたので、ちょっと確認しましたが、定性的には、そういうことだろう なということには理解をしていますので、ここについては、
1:57:51	これでいいと思います一応、事実確認だけさせていただきました。私か らは以上です。
1:58:01	規制庁大橋です。3 番目の資料の 3 ページなんですけど、
1:58:06	3 ページで、
1:58:07	すでに他のヒアリングで説明済みだとは思うんですけども、
1:58:13	ここで平板再開試験のグラフがあって、ここで求めた極限支持力をその まんま
1:58:20	ウエエダの地盤支持力の評価基準値に用いているんですが、
1:58:26	試験のばらつきだとか、
1:58:29	直径 30 センチの平板災禍試験のスケール効果だとか、そういう不確実 性があるんですが、そういうことを踏まえて、学んで、極限支持力をそ のまま、
1:58:40	評価基準値にできるかっていう話をちょっと説明していただきたいんで すけど、お願いします。
1:58:58	はい。中国電力の高松です。この三瓶Gの平板再貸ケインの結果で申 しますと、平板被災試験方法というのが、地盤工学会の試験方法の方 にございまして、
1:59:14	こちらで実際に反力をとりながらですね、埋め戻しのに、再開していく つていうふうな試験をしております、実際このグラフにございます通り、 1.2 ニュートン、これ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:26	反力の方で上限が決まるようなところはあるんですけども、1.2 ニュートンまでかけてもう支持性能が確認できたということで、この上、埋戻し度の原子力についてはこの 1.2 を、
1:59:39	適用してるとというのが実態でございます。
1:59:47	はい、中国電力ヨシツグでございます。あと、少しだけ補足をさせていただきますと、試験結果に、
1:59:55	この極限支持力と書いておるんですけども、必ずしもその時点で地盤が経たっているような状況ではないということでこの時点でもある程度余裕があると、いうふうな数字だと思っております。それと、
2:00:06	衛藤教諭、最終的には評価、安全率に十分、この極限支持力に対して、接地圧が小さいと、そういったところも踏まえましてこの評価をさせていただきます。以上でございます。
2:00:21	綺麗長オオハシです。
2:00:22	私も実験結果を見ても、ピークがまだ直線領域にあるなっていうのはわかりますんで、そういうところで、
2:00:31	実際には余裕があるということで理解しました。以上です。
2:00:41	規制庁の八田です。ちなみにちょっと記載だけなんですけどこの第 2 保管エリアのハのあとだけ 2 点があるのでちょっとこら辺はコメントにしません、この紙で統一できるのは統一しといてください以上です。
2:01:00	規制庁のチギラです。先ほどの極限支持力の話とかっていうのは評価の時に当初にまだいって書いてると思うんですが、妥当な安全余裕を見るっていうのが、あると思いますので、
2:01:12	そこ
2:01:17	統一的に書かれて、
2:01:18	いるっていうことも、確認していただければと思います。
2:01:24	はい。中国電力ヨシツグでございます。
2:01:27	今おっしゃられた内容につきましては、確認させていただきます。以上です。
2:01:33	はい、平出須賀他、
2:01:35	よろしいですかね。
2:01:38	はい。
2:01:40	中国電力側から追加でありますか。
2:01:44	はい。中国電力高松です。弊社の方からはございません。以上です。はい。それでは本日午前のヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。